

「子供の運動習慣アップ支援事業」 実施マニュアル

<実務マニュアル>

1. 「子供の運動習慣アップ支援事業」とは	P.1
2. 「子供の運動習慣アップ支援事業」養成講習会	P.2
1) プレイリーダー養成講習会の開催	P.2
(1) 講習会の構成	P.2
(2) 基本日程	P.4
(3) 運営スタッフ	P.4
(4) 準備が必要な物品等	P.5
(5) 安全対策について	P.8
(6) 傷害保険への加入について	P.8
2) インストラクター養成講習会の開催	P.8
(1) 講習会の構成	P.8
(2) 基本日程	P.10
(3) 運営スタッフ	P.12
(4) 準備が必要な物品等	P.12
(5) 安全対策について	P.13
(6) 傷害保険への加入について	P.13
2. 養成講習会の開催手続き	P.14
(1) 開催者の確認	P.14
(2) 会場・各種依頼・受講者の募集等	P.14
(3) テキスト等受講者への配布物の準備	P.16
(4) 受講者数などの確定情報の通知について	P.16
3. 養成講習会終了後の手続き	P.17
4. 指導者(プレイリーダー)の派遣	P.18

<各種資料>

資料1～19

本運営マニュアルは、公益財団法人日本体育協会が制作した「アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP)」の実績に基づいて作成しています。

公益財団法人 日本体育協会 スポーツ科学研究室

Tel: 03-3481-2240 E-mail: ishizuka-s@japan-sports.or.jp (担当: 石塚)

「子供の運動習慣アップ支援事業」

実施マニュアル

1. 「子供の運動習慣アップ支援事業」とは

平成28年10月にスポーツ庁が発表した調査結果によると、子供の体力・運動能力について、新体力テスト施行後のこの18年間に緩やかな向上傾向が見られるものの、体力水準が高かった昭和60年頃と比較すると、依然として低い水準であることが報告されました。この背景には、運動をする子供としない子供との二極化、あるいは日常生活における子供の身体活動量低下がみられていることから、より多くの子供が十分に体を動かし、スポーツの楽しさや意義・価値を実感することができる環境整備の必要性が指摘されています。

そこで「子供の運動習慣アップ支援事業」では、公益財団法人日本体育協会は制作した「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の実績を応用し、子供にスポーツを自発的に実施する習慣や、多様な動きを獲得させるプログラムを提供するとともに、指導者を養成するための講習会（養成講習会）を開催しました。また、そこで養成した指導者を幼稚園や放課後子供教室等に派遣しました。本マニュアルは、上記によって得られた知見を基に、今後、子供の運動習慣や体力を高めるための講習会を開催する際に役立つよう作成されたものです。

2. 「子供の運動習慣アップ支援事業」養成講習会

「子供の運動習慣アップ支援事業」養成講習会は、子供にスポーツを自発的に実施する習慣や、多様な動きを獲得させるプログラムを提供し、そのプログラムを主導する指導者を養成すること、またそのノウハウを普及することを目的とした講習会です。本運営マニュアルでは、下記の2種類の養成講習会の運営方法について解説します。

○プレイリーダー養成講習会

子供にスポーツを自発的に実施する習慣や、多様な動きを獲得させるプログラムを提供できる指導者を養成するための講習会

○インストラクター養成講習会

上記の技術を習得するとともに、プレイリーダーの育成・派遣を含めたプログラムの運営を円滑に行うための環境整備を講じることができる指導者・実務者を養成するための講習会

1) プレイリーダー養成講習会の開催

(1) 講習会の構成

プレイリーダー養成講習会は①理論編、②実技編、③総合討論、の3つの内容で構成されています。

①理論編

1)ACPの趣旨、2)身体活動・運動の意義、3)指導法・指導技術、4)実践事例の紹介、5)啓発資料の活用等に関する講義を座学形式で行います。



理論編は、会議室や講義室等で行います。講師がパワーポイント等によるスライドで知識を提示しながら口頭で解説し、受講者がメモをとる講義形式で実施します（イメージ①）。

理論編の会場は、主に会議室や講義室等を使用しますが、移動式スクリーン、プロジェクター、パソコン、机および椅子等があれば、実技編の会場（体育館・アリーナ等）で実施することも可能です（イメージ②）。

②実技編

受講者が運動遊びを体験しながら、1)運動遊びの紹介、2)運動遊びの展開例、3)指導のポイント等に関する講義を実技形式で行います。



実技編は、体育館・アリーナ等での実施が基本ですが（イメージ③）、狭い会場や、理論編で使用した講義室等で実施することも可能です（イメージ④）。

③総合討論

質疑応答やディスカッションを通して講師と受講者の間で意見交換を行い、講習会の内容や「ACP」に対する理解を深めます。

「ACP」は「理論」に基づいた「実技（運動遊び）」が基礎となっています。

「理論編」と「実技編」の両方を実施することで、

よりよい効果を得ることができます。

(2) 基本日程

プレイリーダー養成講習会の基本日程は、下記の通りです。

内容	時間	備考
受付	15分～25分	
オリエンテーション	5～10分	
理論編	60～75分	講義室・会議室等
休憩・着替え・会場移動	10分～15分	
実技編	110～120分	体育館・アリーナ等
総合討論	10～15分	

(3) 運営スタッフ

運営スタッフは①講師、②司会・コーディネーター、③運営員で構成します。

①講師・・・理論編1名（受講人数に限らず一定）※実技編助手の兼務可 実技編1～2名（受講人数によって追加）

子供の運動習慣や体力の向上、運動遊びの指導法などを専門とする講師を招聘します。講習会の質を担保するため、講師（実技編）については、受講者が50名を超過する毎に1名追加することが望ましいと考えます。また、受講者は、複数の講師から実技指導を受けることによって異なった視点から指摘を受けることが可能になるとともに、より多くの指導者と協力して指導を行う方法を身に付けることができます。

②司会・コーディネーター・・・1名（受講人数に限らず一定）

講習会全体の進行を行います。また、理論編や実技編の講義時間が前後する場合には、講師と相談し、調整を行います。

③運営員・・・1名（受講人数によって追加）

運営員は、受付や参加費の受領、テキストの販売等を行います。講習会を円滑に進行するため、受講者が50名を超過する毎に1名追加することが望ましいと考えます。

- ・ 主な講師、司会・コーディネーターの紹介・・・・・・・・・・ **資料1**

※ 講師の依頼については日本体育協会にお問い合わせください。

(4) 準備が必要な物品等

講習会開催にあたり、講義のスクリーンや、実技のスポーツ用品など、必要な物品を準備する必要があります。また、受講者には、テキストや日程表、実技一覧プリントをはじめ、子供の運動習慣アップに資する啓発資料を配布します。

①理論編会場

物品	数量	確認事項
スクリーン	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既設、仮設（移動式スクリーン等）は問わない ・ 後列の受講者が内容を判別できるサイズ、高さに投影可能なものが望ましい
プロジェクタ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 室内をあまり暗くせずに明瞭に投影できるものが望ましい（受講者がテキストを読んだりメモを取るため）
パソコン	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講師の使用メーカーを確認（Win or Mac） ・ 講師が持参して使用する場合もある
ケーブル・端子等	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ Mac パソコン変換プラグ等 ・ パソコンの対応端子（HDMI、VGA 等）を確認 ・ 延長コード等
レーザーポインタ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講者が判別しやすい緑色が望ましい
スピーカー	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコンに接続できる端子（HDMI、VGA 等）既設のスピーカーが望ましい ・ 仮設の場合は、Bluetooth 機能、最大出力 3W 以上が望ましい

机	-	・1.8m 幅長机に2名掛けが望ましい ・受講者数/2 + 5 台程度
椅子	-	・受講者数 + 10 台程度
演台	1	・準備不可の場合は上記の机にて代用可
司会台	1	・準備不可の場合は上記の机にて代用可
マイク	2~3	・講師用はワイヤレスマイクが望ましい
ネームプレート	5	・講師（理論編・実技編）3名、司会1名、運営員1名

②実技編会場

物品	数量	確認事項
マイク	2~3	・講師用はワイヤレスピンマイクが望ましい

③受講者への配布物

物品	確認事項
テキスト	・理論編内容に対応したガイドブック等 ^{※1}
日程表	・資料2参照
実技紹介資料	・資料3参照
受講者アンケート	・受講者の理解度や改善点を確認するため ・資料4参照
その他啓発資料	・受講者による今後の指導に役立つ資料等 ^{※2}

※1 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」(ガイドブック)
「みんなで遊んで元気アップ!アクティブ・チャイルド・プログラム」
(ガイドブック)

<http://www.japan-sports.or.jp/publish/tabid/776/Default.aspx#guide08>



※2 学級通信生成システム

<http://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/acp/gakkyu.html>



ACP などの子供の体力向上やその他スポーツに関する知識をまとめています。

受講者への配布物は、受講者の増加や運営スタッフが確認する場合があるため、**受講者数+10部**程度準備してください。

④スポーツ用品（実技編）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5

物品	数量	確認事項
コンテナ	3	下記スポーツ用品を保管・郵送するため
マーカー	120	黄・赤・青・緑など4色以上×30
マーカーパッド	40	別名「フラットマーカー」 黄・赤・青・緑など4色以上×10
ミニコーン	40	黄・赤・青・緑など4色以上×10
フラフープ	10	分割して保管できるものが望ましい
大縄	4	持ち手が着脱可能なものが望ましい
短縄	10	競技用なわとびが望ましい
ドッジボール	24	「ソフトドッジボール」が望ましい
ボールケース	1	
テニスボール	24	
空気入れ	1	
電子ホイッスル	1	
ストップウォッチ	1	
ラダー	1	
ビブス（ベスト）	40	黄・赤・青・緑など4色以上×10
布ガムテープ	9	黄・赤・青など3色以上×3
風船	-	受講者数+10程度
新聞紙	-	受講者数×3程度
スズランテープ	1	

上記スポーツ用品が準備できない場合には、「ミニコーン」の代わりに「空のペットボトル」を使用するなど、安全の配慮をした上で代用品を使用することにより、十分に実技編を実施することが可能です。担当講師と相談の上、決定してください。

(5) 安全対策について

- ・ 講習会会場における AED（自動体外式除細動器）設置場所、使用方法を必ず確認してください。会場に AED が設置されていない場合は、携帯用の AED を準備するなど、可能な限り不測の事態が生じた際の対応策を構築し、運営スタッフおよび受講者間で共有してください。
- ・ 実技編では、受講者に対し事前にストレッチやウォーミングアップの実施を促すなど、怪我防止のための配慮をお願いします。また、既に怪我をしている受講者には見学して頂き、遊びの種類やアレンジの仕方を学ぶことも可能です。

(6) 傷害保険への加入について

- ・ 最大限の安全対策を構築しても、不測の事態が生じる場合があります。運営スタッフおよび受講者の両者を対象とした傷害保険に加入してください。なお費用は、主催者が負担する場合があります。

2) インストラクター養成講習会の開催

(1) 講習会の構成

インストラクター養成講習会は、①理論編、②実技編、③グループワーク、④指導実践、⑤総合討論、の 5 つの内容で構成されています。インストラクター養成講習会は、原則、プレイリーダー養成講習会の受講者を対象に、応用編として開催するものです。

①理論編

ACP の趣旨について確認した上で、1)指導法・指導技術、2)実践事例の紹介、3)啓発資料の活用等の解説を中心とした講義を座学形式で展開します。なお、受講者の属性によっては、講義用スライドの詳細な解説を行い、講師（理論編）を養成する講義を行う場合もあります。理論編のイメージについては、プレイリーダー養成講習会の理論編イメージ①および説明文（p.2～）を参照してください。

②実技編

運動遊びの紹介をしつつ、アレンジを加えバリエーションを増やすための指導法・指導技術を身につけるための講義を実技形式で行います。実技編のイメージについては、プレイリーダー養成講習会の実技編イメージ③および説明文（p3～）を参照してください。

③グループワーク



受講者の中で3～5人のグループを作り、指導実践に向けた準備・ディスカッションを行います。ここでは、指導者の役割分担や、時間配分、場の想定、ねらいについて確認します。

グループワークは実技編と同じ会場（体育館・アリーナ等）で実施します（イメージ③）。ここでは、実践指導の内容について議論します。指導案、模造紙、ポストイットを用いて実践内容を整理します。

④指導実践編



指導実践は、前記のグループワークを行った際のメンバーで行います。まず、指導実践に向けた準備・ディスカッションを行います。ここでは、指導者の役割分担や、時間配分、場の想定、ねらいについて確認します。

指導実践は、実技編と同じ会場（体育館・アリーナ等）で実施します（イメージ⑥）。ここでは、2箇所に分かれ（受講者数が少ない場合は1箇所）、各グループが指導者役（サポート役含む）を担当し、その他の受講者が子供役を務め、実際の指導現場を想定しながら指導実践を行います。指導実践の後には、指導者役担当グループの受講者が良かった点・改善点を発表し、講師や子供役の受講者とディスカッションを行います。最後に、講師から講評を頂きます（イメージ⑦）。

③総合討論・評価会

プレイリーダー養成講習会と同様に、質疑応答やディスカッションを通して講師と受講者の間で意見交換を行い、講習会の内容や「ACP」に対する理解を深めます。

(2) 基本日程

インストラクター養成講習会の基本日程は下記の通りです。なお、2日間日程が原則ですが、全体の時間を短縮し、1日間で行うことも可能です。

①2日間日程

・1日目（午後開始）

内容	時間	備考
受付	15分～30分	
オリエンテーション	10～15分	
理論編	150分	講義室・会議室等
休憩・着替え・会場移動	10分	

実技編	120分	体育館・アリーナ等
休憩	10分	
グループワーク	60分	体育館・アリーナ等

・2日目（午前開始）

内容	時間	備考
指導実践編	190～200分	体育館・アリーナ等
総合討論・評価会	15～20分	体育館・アリーナ等

② 1日間日程

・1日目（午後開始）

内容	時間	備考
受付	15分～20分	
オリエンテーション	10分	
理論編	75～90分	講義室・会議室等
休憩・着替え・会場移動	10分	
実技編	100～120分	体育館・アリーナ等
休憩・昼食	60分	
グループワーク	45～60分	体育館・アリーナ等
指導実践編	190～200分	体育館・アリーナ等
総合討論・評価会	10～15分	体育館・アリーナ等

1日間日程で行った場合、非常にタイトなスケジュールになります。最大の効果を得られるようにするためには、2日間日程で行うことを推奨します。

(3) 運営スタッフ

運営スタッフは、プレイリーダー養成講習会（p.2～）と同様、①講師、②司会・コーディネーター、③運営員で構成します。

(4) 準備が必要な物品等

準備する物品は、プレイリーダー養成講習会を開催するために必要な物品（p.5～）とともに、下記の物品が必要です。

①グループワーク・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料5

物品	数量	確認事項
模造紙 (ポストイット型)	-	グループの数×2
ポストイット	-	グループの数
水性ペン	-	グループの数×8色セット

②指導実践編

物品	数量	確認事項
ホワイトボード	2	準備できない場合は上記の模造紙（ポストイット型）で対応
ホワイトボード用 マーカー	2	2～3色セット（マーカー消し含む）

③受講者への配布物

物品	確認事項
テキスト	・理論編内容に対応したガイドブック等（p.6参照）
日程表	・資料6 資料7 参照
実技紹介資料	・資料3参照
受講者名簿	・受講者にグループワークおよび指導実践のグループを提示するため ・資料8参照

指導案	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ用紙として使用（提出は求めない） ・資料9参照
グループワーク 説明資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料10参照
受講者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の理解度や改善点を確認するため ・資料11参照

受講者への配布物は、受講者の増加や運営スタッフが確認する必要があるため、**受講者数+10部**程度準備してください。

(5) 安全対策について

- ・プレイリーダー養成講習会（p.2～）と同様、可能な限り不測の事態が生じた際の対応策を構築し、運営スタッフおよび受講者間で共有してください。

(6) 傷害保険への加入について

- ・プレイリーダー養成講習会（p.2～）と同様、最大限の安全対策を構築しても、不測の事態が生じる場合があります。運営スタッフおよび受講者の両者を対象とした傷害保険に加入してください。

2. 養成講習会の開催手続き

(1) 開催者の確認

外部の組織・団体に協力を依頼する場合は、主催はどちらなのか、また主催が自身の組織・団体の場合、協力頂く組織・団体の関わり方はどのようになるのかを確認する必要があります。（共催、後援、協力など）

また、原則、外部の組織・団体に協力を依頼する場合、依頼文書を作成し、送付してください。送付先、部署、職名および宛名等を確認し作成します。

・ 開催依頼文書例文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 1 2

(2) 会場・各種依頼・受講者の募集等

①会場の確保

養成講習会を開催するためには、原則、1)講義室・会議室等、2)体育館・アリーナ等、の2点を確保することが必要です。それぞれの規模については、受講者の人数によって対応してください。

例) 受講者 60 名の場合
講義室：100～120m²
体育館：1,600 m²程度（バレー・バスケットコート 2 面分）

なお、会場の都合上、体育館・アリーナ等のみしか確保できない場合は、仮設（移動式等）スクリーンを準備できれば開催することも可能です。養成講習会の準備等詳細については、「子供の運動習慣アップ支援事業」養成講習会（p.2～）を確認してください。

「ACP」は「理論」に基づいた「実技（運動遊び）」が基礎となっています。

「理論編」と「実技編」の両方を実施することで、
よりよい効果を得ることができます。

②会場の貸借費用・時間の確認

会場の予約時間については、準備の都合上、受付開始の2時間前から、講習会終了予定時刻の1時間後まで予約することが望ましいです。なお、冷暖房や音響機器の予約を別途行う必要がある場合もあります。上記会場の予約時間と同じ時間で手続きを行ってください。

③講師、司会・コーディネーターの依頼

子供の運動習慣や体力の向上、運動遊びの指導法などを専門とする講師を、原則、理論編1名、実技編2名招聘します。また、ACPに関する知識を持つ司会・コーディネーターを1名招聘することを推奨します。

- ・ 主な講師、司会・コーディネーターの紹介・・・・・・・・・・ **資料1**

原則、講師や司会・コーディネーターを依頼する場合も、依頼文書を作成し、送付してください。送付先、部署、職名および宛名等を確認し作成します。

また、講師、司会・コーディネーターから、謝金の支払いに必要な情報（振込先等）の提出を依頼してください。同時に、謝金の見込み額についても通知することを推奨します。

※ 日本体育協会の規程では、60分15,000円を支給しています。

- ・ 講師、司会・コーディネーター依頼文書（本人宛）例文・ **資料13**
- ・ 講師、司会・コーディネーター依頼文書（所属長宛）例文・ **資料14**

④講師、司会・コーディネーターの交通手段・宿泊先の確保

必要に応じて、講師、司会・コーディネーターの旅券や宿泊施設を確保するようにしてください。

なお、講師、司会・コーディネーターを担当する方に自己手配して頂くことも可能です。手配方法については、事前に講師、司会・コーディネーターを担当する方と相談してください。自己手配の場合は、領収書や搭乗証明書（航空機の場合）等の必要書類を後日提出して頂くよう事前に依頼してください。

⑤受講者の募集

受講者の募集人数は、会場の規模に合わせて決定してください。講習会開催時には、講義内容をより効果的に受講者に伝達するため、受講者の属性（性別、年代、保有資格等）を把握しておくことが重要です。なお、受講者の募集は、講習会開催1ヶ月（4週間）前までに行って頂くことが理想です。

また、受講者募集の時点で開催要項を提示してください。

- ・ 開催要項例文（プレイリーダー）・・・・・・・・・・・・・・・・・・

資料15

- ・ 開催要項例文（インストラクター2日間）・・・・・・・・・・・・

資料16

- ・ 開催要項例文（インストラクター1日間）・・・・・・・・・・・・

資料17

(3) テキスト等受講者への配布物の準備

受講者には、テキストや日程表、実技一覧プリントをはじめ、子供の運動習慣アップに資する啓発資料を配布します。詳細は「子供の運動習慣アップ支援事業」養成講習会（p.2～）を確認してください。

なお、テキストは、「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」および「みんなで遊んで元気アップ！アクティブ・チャイルド・プログラム」を使用します。テキストの購入・納期の関係から、講習会開催2週間前までには準備してください。

(4) 受講者数などの確定情報の通知について

講師と司会・コーディネーターに、受講者数および属性を講習会開催1週間前までに通知してください。

3. 養成講習会終了後の手続き

(1) 養成講習会の報告について

講師と司会・コーディネーターに、最終的な受講者数や、当日の様子（画像等）を報告してください。なお、報告については、委託元に提出しなければならない場合があります。

(2) 講師、司会・コーディネーターへの謝金の支払いについて

講習会の開催時間を確認し、講師と司会・コーディネーターに謝金を支払ってください。

4. 指導者（プレイリーダー）の派遣

プレイリーダー養成講習会およびインストラクター養成講習会を開催した地区において、両講習会で養成した指導者（プレイリーダー）を派遣します。派遣方法は子どもを指導する現場の運営形態により異なります。ここでは、平成29年度「子供の運動習慣アップ支援事業」で行った事例を基に紹介します。

平成29年度は、岐阜県本巣市（幼稚園）、千葉県成田市（保育園）、島根県松江市（放課後子供教室）、東京都小平市（放課後子供教室）、東京都渋谷区（放課後子供教室）の5地区で実施しました。

○島根県松江市、東京都小平市、東京都渋谷区

- ・ プレイリーダー養成講習会もしくはインストラクター養成講習会に参加した指導者が自身の指導現場で指導実践を実施。

○岐阜県本巣市、千葉県成田市

- ・ プレイリーダー養成講習会もしくはインストラクター養成講習会に参加した大学院生・大学生が指導者となり、幼稚園教員および保育士と連携し、幼稚園・保育園で指導実践を実施。

幼稚園、幼稚園および保育園に大学院生・大学生を派遣する場合は、地方自治体担当部署をはじめ、幼稚園、幼稚園および保育園、大学との連携・協力が必須です。

指導実践終了後には、指導者による報告書、幼稚園・保育園においては幼稚園教員・保育士による所見を作成しました。

- ・ 指導実践報告書（指導者記入用）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ **資料18**
- ・ 指導実践所見（幼稚園教員・保育士記入用）・・・・・・・・・・ **資料19**

○講師



富田 寿人 (とみた ひさと)

静岡理工科大学 情報学部 教授

専門分野：運動生理学、体力学



春日 晃章 (かすが こうしょう)

岐阜大学 教育学部 教授

専門分野：発育発達学、測定評価学



窪 康之 (くぼ やすゆき)

国立スポーツ科学センター

スポーツ科学研究部 副主任研究員

専門分野：バイオメカニクス、トレーニング科学



佐々木 玲子 (ささき れいこ)

慶應義塾大学 体育研究所 教授

専門分野：発育動作学、バイオメカニクス



佐藤 善人 (さとう よしひと)

東京学芸大学 教育学部 准教授

専門分野：体育科教育学



内藤 久士 (ないとう ひさし)

順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授

専門分野：運動生理学、体力学



森丘 保典 (もりおか やすのり)

日本大学 スポーツ科学部 教授

専門分野：コーチング学、バイオメカニクス



吉田 伊津美 (よしだ いづみ)

東京学芸大学 教育学部 教授

専門分野：健康・スポーツ科学、身体教育学



吉田 繁敬 (よしだ しげよし)

アイ・プラス株式会社 代表取締役

専門分野：心理学



青野 博 (あおの ひろし)

日本体育協会 スポーツ科学研究室 室長代理

専門分野：運動生理学、発育発達学

平成 29 年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
 プレイリーダー養成講習会 日程
 【〇〇会場】

期日・会場：

期 日 ：

会 場 ：

〒

日程・内容：

時間	内容	会場
12:00～12:20	受付	会議室
12:20～12:30	オリエンテーション	
12:30～13:45 (75分)	理論編（講義） (1) 幼児・児童期における身体活動・運動の意義 (2) 幼児・児童の指導法・指導技術 (3) 幼児・児童指導に関する実践事例 講師：〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)	
13:45～13:55	休憩・着替え	
13:55～15:55 (120分)	実技編（運動遊び、指導法・指導技術） (1) 運動遊びの紹介 (2) 運動遊びの展開例 (3) 指導のポイント 講師：〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)	体育館
15:55～16:10 (15分)	総合討論	
16:10	終了	

■アイスブレイキング

- ・お料理づくり ・落ちた落ちた ・動物に変身
- ・まねっこ → 体じゃんけん
- ・集合ゲーム（無条件、同じ服の色、男女）
- ・人間知恵の輪 ・キャッチ
- ・大根抜き
- ・輪くぐり競争
- ・言うこと一緒、やること一緒

■新聞を使って遊ぼう

- ・胸にはり付けて走る → 落とさず捕まえる
- ・新聞紙に変身
- ・新聞ジャンケン
- ・爆弾ゲーム

■なわを使って遊ぼう

- ・大縄をジャンプする(手拍子ジャンプ)
- ・大縄を引っ張る
- ・大縄でコースをつくって走る → ドカーンじゃんけん

■ボール遊び

- ・投げる → キャッチする（様々なやり方、柔らかいボールで遊ぶ）
- ・転がす → よける（転がしドッジボールに発展）
- ・的当て → ドッジボール
- ・ボール運び（風船リレー） 二人組 → グループ
- ・宅配便ゲーム（ボールサイズ等のアレンジ） → ボール集め競争

■鬼遊び

- ・魚とり → 手つなぎ鬼
- ・ガッチャン → ところてん鬼（立位、座位、腹臥位）
- ・ねずみ逃がし → ことろことろ
- ・鬼ごっこ → しっぽとり → 氷鬼（バナナ鬼、レンジでチン、動物、スポーツ）
- ・木とリス

これらの遊びを行っても、すぐには楽しめないことがあるかもしれません。そんな時は、ルールや場を柔軟に変えてみましょう。子どもたちは、慣れてくると「難しい」ことに挑戦したくなるはずです。子どもたちの実態に応じて遊びを面白くしていくことが、指導者には求められます。

子どもたちが“楽しみながら”“積極的に”からだを動かすことができる。それが「アクティブ・チャイルド・プログラム」です。

子どもは「遊び」が好きです。好きだから夢中になって遊びます。

「健康のため」、「将来のため」という大人の理論を子どもに押しつけようとしても、子どもはピンときませんね。

昔であれば、子どもたちは地域や学校で遊びを伝承しました。ところが地域での遊びは消失し、学校の先生方は遊んでいない世代です。つまり、「遊び」は伝承せず、「遊び」を知らない子どもたちが増えているのです。そんな子どもたちにこそ、「楽しそう」、「やってみよう」と思わせるような、さまざまな遊びを紹介することが大切です。

子どもにとって大切になった「遊び」は継続して遊ばれることでしょう。

そして、遊び好き、運動好き、スポーツ好きになります。

その結果として、「健康・体力」や「社会性」が身につくと考えられるのです。

私たち大人は、発育期にある子どもの身体活動の重要性を認識しつつも、子どもに対しては、好奇心や面白さによる動機づけを大切に指導することが求められています。

■ よい指導者としての観点

1. 多様な動きを経験させる

楽しさの中で、保護者への必要性の理解を

2. 一定の身体活動量と活動強度を確保する

楽しさ重視、トレーニングにならない

3. 発育・発達の個人差に配慮する

成果を求めすぎない

4. 次々にプログラムを展開させる

ゲーム性、「レパートリー」と「バリエーション」

5. できるようになったことを認めてあげる

肯定的に、成果だけでなく過程も

6. いつも元気で楽しい雰囲気をつくる

指導者も笑顔、易しい言葉

7. こころの発達や社会性の獲得にも配慮する

話し合う場の確保、スキンシップ

8. 異年齢交流を積極的に利用する

リーダーの育成、思いやる心の醸成

■ 指導のコツ

1. まずからだを動かす

集まった子から遊ばせる、指導者も一緒に徐々に子ども同士で、説明は短く

2. 環境を通じて動きを引き出す

遊びたくなるような環境を作る、もう少しでできそうなことを提供

3. 合い言葉やキーワードの活用

成功したときのかけ声、ハイタッチ

4. 約束

必要性を説明する、一方的な管理ではなく子どもとともに考える、安全面への配慮

5. 話し合い

作戦を考えさせる、トラブルを自ら解決させる、介入しすぎない、「見守る」「待つ」

6. 「指導日誌」の活用

記録をつける、引き継ぎ、指導内容の共有

7. 子どものほめ方、しかり方

具体的に、叱った場合はフォローも

プレイリーダー養成講習会

参加者アンケート

〇〇会場

講師講習会へのご参加ありがとうございました。お手数ですがアンケートにご協力ください。

(1) 参加区分

該当する項目にチェックしてください。(複数回答可)

<input type="checkbox"/>	①スポーツ少年団関係者	<input type="checkbox"/>	②日本体育協会公認スポーツ指導者
<input type="checkbox"/>	③総合型地域スポーツクラブ関係者	<input type="checkbox"/>	④幼稚園、保育所等関係者
<input type="checkbox"/>	⑤教育委員会関係者	<input type="checkbox"/>	⑥スポーツ推進委員
<input type="checkbox"/>	⑦その他 ()		

(2) 理論編 (ACP の趣旨、指導法・指導技術、実践事例、啓発資料) の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

①アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) の趣旨	<input type="checkbox"/>	よく理解 できた	<input type="checkbox"/>	理解 できた	<input type="checkbox"/>	あまり 理解でき なかった	<input type="checkbox"/>	理解でき なかった
②指導法・指導技術	<input type="checkbox"/>	よく理解 できた	<input type="checkbox"/>	理解 できた	<input type="checkbox"/>	あまり 理解でき なかった	<input type="checkbox"/>	理解でき なかった
③実践事例	<input type="checkbox"/>	よく理解 できた	<input type="checkbox"/>	理解 できた	<input type="checkbox"/>	あまり 理解でき なかった	<input type="checkbox"/>	理解でき なかった
④啓発資料	<input type="checkbox"/>	よく理解 できた	<input type="checkbox"/>	理解 できた	<input type="checkbox"/>	あまり 理解でき なかった	<input type="checkbox"/>	理解でき なかった
⑤講義全体	<input type="checkbox"/>	よく理解 できた	<input type="checkbox"/>	理解 できた	<input type="checkbox"/>	あまり 理解でき なかった	<input type="checkbox"/>	理解でき なかった

理論編の内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> (講義時間、講師説明内容、配布資料内容など・・・)

裏面につづきます

(3) 実技編(様々な運動遊び、運動遊びの展開例、指導法・指導技術)の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- | | | | | |
|-----------|--------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| ①様々な運動遊び | <input type="checkbox"/> よく理解
できた | <input type="checkbox"/> 理解
できた | <input type="checkbox"/> あまり
理解でき
なかった | <input type="checkbox"/> 理解でき
なかった |
| ②運動遊びの展開例 | <input type="checkbox"/> よく理解
できた | <input type="checkbox"/> 理解
できた | <input type="checkbox"/> あまり
理解でき
なかった | <input type="checkbox"/> 理解でき
なかった |
| ③指導法・指導技術 | <input type="checkbox"/> よく理解
できた | <input type="checkbox"/> 理解
できた | <input type="checkbox"/> あまり
理解でき
なかった | <input type="checkbox"/> 理解でき
なかった |

実技編の内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> (講習時間、講師説明内容、配布資料内容など・・・)

(6) 講習会全体について

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- | | | | | |
|------------------|--|---|--|---|
| ①講習会の
趣旨・ねらい | <input type="checkbox"/> よく理解
できた | <input type="checkbox"/> 理解
できた | <input type="checkbox"/> あまり
理解でき
なかった | <input type="checkbox"/> 理解でき
なかった |
| ②講習会の
満足度 | <input type="checkbox"/> 非常に
満足している | <input type="checkbox"/> 満足
している | <input type="checkbox"/> あまり
満足でき
なかった | <input type="checkbox"/> 満足でき
なかった |
| ③今後の ACP
普及活動 | <input type="checkbox"/> 積極的に
行える自信が
ついた | <input type="checkbox"/> 機会があれば
活動してい
きたい | <input type="checkbox"/> もう少し
理解を
深めたい | <input type="checkbox"/> 自分自身で
普及をする
にはまだ不
安が大きい |

講習会全体について感想・意見等がございましたらご記入ください。

<自由記述>

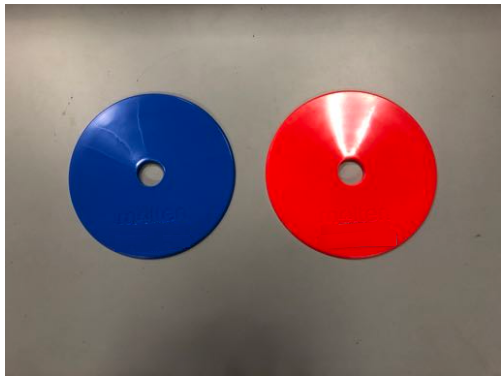
ご協力ありがとうございました。



コンテナ (140サイズ程度)



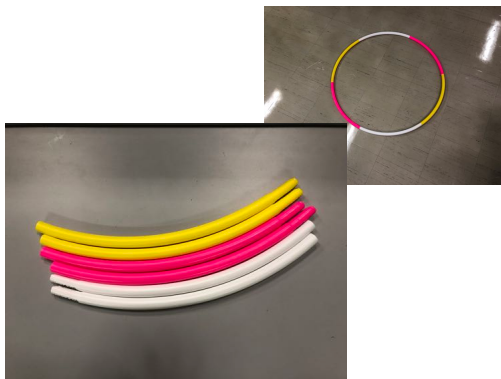
マーカー



マーカーパッド



ミニコーン



フラフープ



大縄



短縄



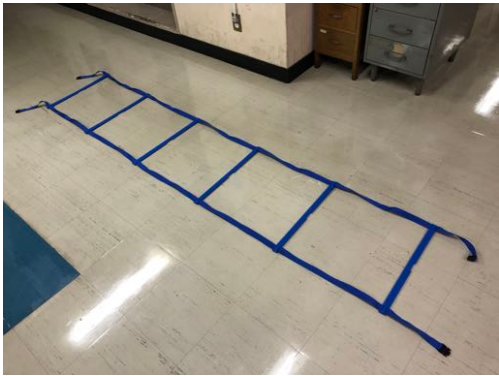
ドッジボール



テニスボール



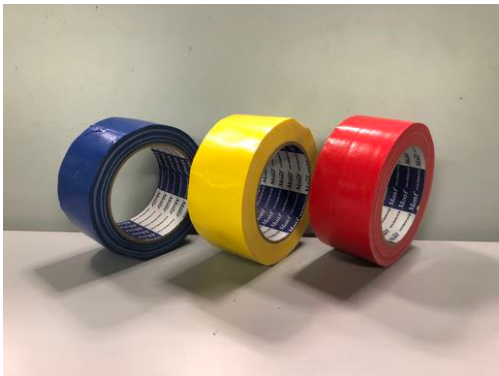
電子ホィッスル



ラダー



ビブス (ベスト)



布ガムテープ



スズランテープ



水性ペン



模造紙 (ポストイット型)

9月17日(土) (6時間)			9月18日(日) (4時間15分)		
			9:00~12:55 (3時間55分)	指導実践編 (模擬指導) 各班アイスブレイキングに加え以下のいずれかを残りの3班を対象に模擬指導する。 ・新聞を使って遊ぼう ・なわを使って遊ぼう ・ボール遊び ・鬼遊び	体育館1・2
12:00~ 12:30	受付	講義室			
12:30~ 12:40	オリエンテーション				
12:40~ 14:40 (2時間)	理論編(講義)		12:55~13:15 (20分)	評価会 終了	
			指導実践編(詳細)		
				会場1	会場2
				A~D班	E~H班
			時間	指導する遊び	指導する遊び
			9:00-9:50	準備・打合せ・リハーサル等	
			9:50-10:25	新聞	ボール
			10:25-10:40	休憩・準備	
			10:40-11:15	なわ	鬼
			11:15-11:30	休憩・準備	
			11:30-12:05	ボール	新聞
			12:05-12:20	休憩・準備	
			12:20-12:55	鬼	なわ
			新聞：新聞を使って遊ぼう なわ：なわを使って遊ぼう ボール：ボール遊び 鬼：鬼遊び		
14:40~ 14:50	休憩・着替え				
14:50~ 16:50 (2時間)	実技編 (運動遊び、指導法・指導技術)	体育館			
16:50~ 17:00	休憩				
17:00~ 18:30 (1時間30分)	グループワーク (指導実践打合せ等)	体育館			

講師

- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) …… 理論編/グループワーク/指導実践編
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) …… 実技編/グループワーク/指導実践編
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) …… 実技編/グループワーク/指導実践編

平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
 インストラクター養成講習会 日程
 【〇〇会場】

期日・会場：

期 日 ：

会 場 ：

〒

日程・内容：

時間	内容	会場
9:00～ 9:20	受付	会議室
9:20～ 9:30	オリエンテーション	
9:30～10:45 (75分)	理論編 (ACPの趣旨、指導法・指導技術、実践事例、啓発資料)	
10:45～10:55	休憩	体育館
10:55～12:35 (100分)	実技編 (様々な運動遊び、運動遊びの展開例、指導法・指導技術)	
12:35～13:35	昼食・休憩	
13:35～14:25 (45分)	グループワーク (指導実践打合せ等)	体育館
14:25～17:25 (180分)	指導実践編 (模擬指導 ※ 2ページ目詳細参照)	
17:25～17:40	総合討論	
17:40	終了	

講師

- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)・・・理論編／グループワーク／指導実践編
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)・・・実技編／グループワーク／指導実践編
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)・・・実技編／グループワーク／指導実践編

指導実践編（詳細）

	会場 1	会場 2
	1～4 グループ	5～8 グループ
時間	指導する遊び	
14:25-14:35	準備・打合せ・リハーサル等	
14:35-15:10	アイスブレイク	ボール遊び
	休憩・準備	
15:20-15:55	新聞・なわを使った遊び	オニ遊び
	休憩・準備	
16:05-16:40	ボール遊び	アイスブレイク
	休憩・準備	
16:50-17:25	オニ遊び	新聞・なわを使った遊び

<スケジュール内訳>

1. 各班 30 分間 × 4 班
 - 1) 模擬指導：20 分間
 - 2) 研究協議：15 分間

資料 8

インストラクター養成講習会 参加者名簿(〇〇会場)

No.	実技編指導担当	グループ	参加者	所属
1	〇〇・〇〇	1		
2				
3				
4				
5				
6		2		
7				
8				
9				
10				
11		3		
12				
13				
14				
15				
16		4		
17				
18				
19				
20				

※理論編担当：〇〇

氏名

グループ

時間	指導内容(指導者としての観点、指導のコツ、指導体制、役割分担等)

★この用紙は各グループ、個人でメモとして使用してください。提出は不要です。

<スケジュール>

1. 各班 35分間 × 4グループ
 - 1) 模擬指導：20分間
 - 2) 研究協議：15分間
 - ※ 4グループ × 2会場
 - ※ 1～4 講師 ○○先生
 - 5～8 講師 ○○先生
2. 休憩・準備 10分間
 - ※ 他グループの模擬指導を参考に
 - ※ グループ対抗のコンペではない
 - ※ 参加者同士でノウハウを蓄積させる

1

指導実践

<内訳>

1. 模擬指導：20分間
 - 1) 概要説明
指導対象の年齢構成、場の想定、ねらい
 - 2) 運動遊び × 2～3種類
課題の遊びを実践する
 - ※ ①アイスブレイク、②新聞、③縄・ボール、④オ二)
 - ※ 子どもを対象とする指導（指導時は解説不要）
2. 研究協議：15分間
 - 1) 指導内容の説明（指導者役）
 - 2) 意見交換、質疑応答（指導者・子ども役）
 - 3) 解説、評価、助言（講師）

2

グループワーク

<協議内容>

- ① 指導対象や場の想定
→年齢構成、人数、環境、時期
- ② ねらい
- ③ 遊びの内容
→動きの量と質、遊びの展開
- ④ 時間配分
- ⑤ 役割分担
- ⑥ 指導ポイント（指導法・指導技術）

3

グループワーク

<留意点>

- ① 遊びは原則、実技編資料から選択する
- ② レパートリーよりもアレンジを重視する
- ③ 新しい遊びを創作する訳ではない
- ④ 指導法・指導技術を駆使する
- ⑤ 指導案を提出する必要はない

4

インストラクター養成講習会

参加者アンケート

〇〇会場

講師講習会へのご参加ありがとうございました。お手数ですがアンケートにご協力ください。

(1) 参加区分

該当する項目にチェックしてください。(複数回答可)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> ①スポーツ少年団関係者
<input type="checkbox"/> ③総合型地域スポーツクラブ関係者
<input type="checkbox"/> ⑤教育委員会関係者
<input type="checkbox"/> ⑦その他 (| <input type="checkbox"/> ②日本体育協会公認スポーツ指導者
<input type="checkbox"/> ④幼稚園、保育所等関係者
<input type="checkbox"/> ⑥スポーツ推進委員) |
|--|--|

(2) 理論編 (ACP の趣旨、指導法・指導技術、実践事例、啓発資料) の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- | | | | | |
|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| ①アクティブ・チャイルド・プログラム (ACP) の趣旨 | <input type="checkbox"/> よく理解できた | <input type="checkbox"/> 理解できた | <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 理解できなかった |
| ②指導法・指導技術 | <input type="checkbox"/> よく理解できた | <input type="checkbox"/> 理解できた | <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 理解できなかった |
| ③実践事例 | <input type="checkbox"/> よく理解できた | <input type="checkbox"/> 理解できた | <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 理解できなかった |
| ④啓発資料 | <input type="checkbox"/> よく理解できた | <input type="checkbox"/> 理解できた | <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 理解できなかった |
| ⑤講義全体 | <input type="checkbox"/> よく理解できた | <input type="checkbox"/> 理解できた | <input type="checkbox"/> あまり理解できなかった | <input type="checkbox"/> 理解できなかった |

理論編の内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> (講義時間、講師説明内容、配布資料内容など・・・)

裏面につづきます

(3) 実技編(様々な運動遊び、運動遊びの展開例、指導法・指導技術)の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- ①様々な運動遊び よく理解できた 理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった
- ②運動遊びの展開例 よく理解できた 理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった
- ③指導法・指導技術 よく理解できた 理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった

実技編の内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> (講習時間、講師説明内容、配布資料内容など・・・)

(4) グループワーク(指導実践打合せ等)の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- ①時間 多過ぎた ちょうど良かった 少なかった
- ②ディスカッション よく協議できた 協議できた あまり協議できなかった 協議できなかった

グループワークの内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> (進行方法、グループ構成など・・・)

(5) 指導実践編(模擬指導)の内容

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- ①担当した遊び アイスブレイク 新聞、なわを使った遊び ボール遊び 鬼遊び

- ②指導実践編 全体の時間 多過ぎた ちょうど良かった 少なかった
- ③模擬指導の時間 多過ぎた ちょうど良かった 少なかった
- ④グループの人数 多過ぎた ちょうど良かった 少なかった
- ⑤指導対象となる人数 多過ぎた ちょうど良かった 少なかった
- ⑥講師からのアドバイス内容 適切、的確であった どちらともいえ ない 良くなかった

指導実践編（模擬指導）の内容について感じたことがあれば記載ください。

<自由記述> （進行方法、模擬指導の出来、評価など・・・）

(6) 講習会全体について

それぞれ当てはまるものにチェックしてください。

- ①講習会の趣旨・ねらい よく理解できた 理解できた あまり理解できなかった 理解できなかった
- ②講習会の満足度 非常に満足している 満足している あまり満足できなかった 満足できなかった
- ③今後の ACP 普及活動 積極的に 行える自信が ついた 機会があれば 活動していきたい もう少し 理解を 深めたい 自分自身で 普及をする にはまだ不 安が大きい

講習会全体について感想・意見等がございましたらご記入ください。

<自由記述>

ご協力ありがとうございました。

第〇回〇〇〇〇発第 〇 号
平成 〇 年 〇 月 〇 日

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇
〇〇 〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇
〇〇 〇〇

平成〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
プレイリーダー・インストラクター養成講習会の開催について（依頼）

平素より本会〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本会では国民におけるスポーツの普及・推進に寄与することを目的の一つとして、
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇を実施しております。このたび、本会では平成〇〇年度スポーツ庁
委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託し、元気な子どもを育むための運動プ
ログラム「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習
慣アップ支援に資するプロジェクトを実施することとなりました。
つきましては、下記の通り標記講習会を開催させて頂きたく存じます。何卒、ご理解と
ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

記

1. 講習名：「子供の運動習慣アップ支援事業」プレイリーダー養成講習会
「子供の運動習慣アップ支援事業」インストラクター養成講習会
2. 期日・会場：
【プレイリーダー養成講習会】
 <<日程>> <<会場>>

【インストラクター養成講習会】
 <<日程>> <<会場>>

<お問い合わせ先>	
〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇	
電話：	Fax：
メール：	@ （担当：〇〇）

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇 〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇

〇〇 〇〇

平成〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
プレイリーダー・インストラクター養成講習会の講師依頼について

平素より本会〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本会では国民におけるスポーツの普及・推進に寄与することを目的の一つとして、〇〇〇〇〇〇〇〇〇を実施しております。このたび、本会では平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託し、元気な子どもを育むための運動プログラム「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習慣アップ支援に資するプロジェクトを実施することとなりました。

つきましては、以下期日・会場において講師をご依頼いたしたく、公務ご多忙の折誠に恐縮ですが、何とぞご承引くださいますようお願い申し上げます。

なお、派遣に係わる経費につきましては、本会にて負担いたしますことを申し添えます。

また、各会場の詳細につきましては、各会場の担当者から別途ご連絡いたします。

記

1. 講習名：「子供の運動習慣アップ支援事業」プレイリーダー養成講習会
「子供の運動習慣アップ支援事業」インストラクター養成講習会

2. 期日・会場：

【プレイリーダー養成講習会】

<<日程>>

<<会場>>

【インストラクター養成講習会】

<<日程>>

<<会場>>

<お問い合わせ先>

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

電話： Fax：

メール： @ (担当：〇〇)

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

〇〇 〇〇 殿

〇〇〇〇〇〇

〇〇 〇〇

平成〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
プレイリーダー・インストラクター養成講習会の講師依頼について

平素より本会〇〇〇〇〇〇〇〇事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、本会ではわが国におけるスポーツの普及・推進に寄与することを目的の一つとして、〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇を実施しております。このたび、本会では平成〇〇年度スポーツ庁委託事業
「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託し、元気な子どもを育むための運動プログラム「アク
ティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習慣アップ支援に資する
プロジェクトを実施することとなりました。

つきましては、公務ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、以下期日・会場において貴職下〇〇
〇〇氏を講師としてご委嘱申し上げたく、ご高配の程お願い申し上げます。

なお、派遣に係わる経費につきましては、本会にて負担いたしますことを申し添えます。

また、各会場の詳細につきましては、各会場の担当者から別途ご連絡いたします。

記

1. 講習名：「子供の運動習慣アップ支援事業」プレイリーダー養成講習会
「子供の運動習慣アップ支援事業」インストラクター養成講習会

2. 期日・会場：

【プレイリーダー養成講習会】

<<日程>>

<<会場>>

【インストラクター養成講習会】

<<日程>>

<<会場>>

<お問い合わせ先>

〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

電話：

Fax：

メール：

@

(担当：〇〇)

平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
プレイリーダー養成講習会

開催要項

【〇〇会場】

趣旨：〇〇〇〇は、平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託した。この委託事業では、元気な子どもを育むための運動プログラム「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習慣アップ支援に資するプロジェクトを実施している。そこで、運動遊びプログラムを主導するプレイリーダーを養成するための講習会を開催する。

主催：

協力：

期日・会場・定員：

期 日：

会 場：

〒

TEL：

定 員： 名

日程・内容：

時間	内容	会場
12:00～12:20	受付	
12:20～12:30	オリエンテーション	
12:30～13:45 (75分)	理論編（講義） (1) 幼児・児童期における身体活動・運動の意義 (2) 幼児・児童の指導法・指導技術 (3) 幼児・児童指導に関する実践事例 講師：〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)	会議室
13:45～13:55	休憩・着替え	
13:55～15:55 (120分)	実技編（運動遊び、指導法・指導技術） (1) 運動遊びの紹介 (2) 運動遊びの展開例 (3) 指導のポイント 講師：〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇) 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)	体育館
15:55～16:10 (15分)	総合討論	
16:10	終了	

受講料： ※交通費は参加者負担

参加申込：

- (1) 各会場の申込期間内に以下のいずれかの方法でお申込みください。

【申込方法】

- (2) 各会場の申込期間内で先着順とし、定員を越えた場合はその時点で締め切ります。
- (3) 施設駐車場には限りがありますので公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- (4) 参加申込にあたって収集した個人情報(参加可否(内定・決定)の通知・関連資料の送付を目的に使用します。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

その他：

- (1) 参加者を被保険者として傷害保険に加入します。
- (2) 当日は実技を行いますので以下を忘れずにお持ちください。
- ・トレーニングウェア(運動できる服装)
 - ・スポーツ活動用シューズ(室内用)
 - ・健康保険証
- (3) 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」(ガイドブック)とその他講習資料は当日配付します。
- (4) 天候不順等で開催を中止する場合は、申込時に登録された連絡先(メール・FAX・電話番号)に連絡する他、ホームページ等によりその旨を掲載します。

<問合せ先> ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○

〒○○○○○○○○○○○○○○○○

TEL : ○○○○○○○○ E-mail : ○○○○○○○○○○○○○○○○○ (担当 : ○○)

平成 29 年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
インストラクター養成講習会

開催要項
【〇〇会場】

趣旨：〇〇〇〇は、平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託した。この委託事業では、元気な子どもを育むための運動プログラム「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習慣アップ支援に資するプロジェクトを実施している。そこで、プログラム運営を円滑に行うための環境整備を講じるインストラクターを養成するための講習会を開催する。

主催：

協力：

期日・会場・定員：

期 日：

会 場：

〒 -

TEL：

定 員： 名

日程・内容：

第 1 日目（ 月 日）

時間	内容	会場
12:00～12:30	受付	
12:30～12:40	オリエンテーション	会議室
12:40～15:10	理論編（講義）	
15:10～15:20	休憩・着替え	
15:20～17:20	実技編（運動遊び、指導法・指導技術）	体育館
17:20～17:30	休憩	
17:30～18:30	グループワーク（指導実践打合せ等）	体育館

第 2 日目（ 月 日）

時間	内容	会場
9:00～ 12:10	指導実践編（模擬指導）	体育館
12:10～12:30	総合討論・評価会	体育館

講師

- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

受講料： ※交通費は参加者負担

参加申込：

- (1) 各会場の申込期間内に以下のいずれかの方法でお申込みください。

【申込方法】

- (2) 各会場の申込期間内で先着順とし、定員を越えた場合はその時点で締め切ります。
- (3) 施設駐車場には限りがありますので公共交通機関のご利用をお願いいたします。
- (4) 参加申込にあたって収集した個人情報(参加可否(内定・決定)の通知・関連資料の送付を目的に使用します。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません(法令などにより開示を求められた場合を除く)。

その他：

- (1) 参加者を被保険者として傷害保険に加入します。
- (2) 当日は実技を行いますので以下を忘れずにお持ちください。
- ・トレーニングウェア(運動できる服装)
 - ・スポーツ活動用シューズ(室内用)
 - ・健康保険証
- (3) 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」(ガイドブック)とその他講習資料は当日配付します。
- (4) 天候不順等で開催を中止する場合は、申込時に登録された連絡先(メール・FAX・電話番号)に連絡する他、ホームページ等によりその旨を掲載します。

<問合せ先> ○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○

〒○○○○○○○○○○○○○○○○

TEL : ○○○○○○○○ E-mail : ○○○○○○○○○○○○○○○○○ (担当 : ○○)

平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」
 インストラクター養成講習会

開催要項
【〇〇会場】

趣旨：〇〇〇〇は、平成〇〇年度スポーツ庁委託事業「子供の運動習慣アップ支援事業」を受託した。この委託事業では、元気な子どもを育むための運動プログラム「アクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）」の成果に基づいた子供の運動習慣アップ支援に資するプロジェクトを実施している。そこで、プログラム運営を円滑に行うための環境整備を講じるインストラクターを養成するための講習会を開催する。

主催：

協力：

期日・会場・定員：

期 日：

会 場：

〒 -

TEL：

定 員： 名

日程・内容：

時間	内容	会場
9:00～ 9:20	受付	
9:20～ 9:30	オリエンテーション	会議室
9:30～11:30	理論編（講義）	
11:30～12:30	昼食・休憩・着替え	
12:30～14:00	実技編（運動遊び、指導法・指導技術）	体育館
14:00～15:00	グループワーク（指導実践打合せ等）	体育館
15:00～16:50	指導実践編（模擬指導）	
16:50～17:00	総合討論	体育館
17:00	終了	

※9:00～17:00 の間で時間変更の場合あり

講師

- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)
- ・ 〇〇 〇〇 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

受講料： ※交通費は参加者負担

参加申込：

- (1) 各会場の申込期間内に以下のいずれかの方法でお申込みください。
【申込方法】

- (2) 各会場の申込期間内で先着順とし、定員を越えた場合はその時点で締め切ります。
(3) 施設駐車場には限りがありますので公共交通機関のご利用をお願いいたします。
(4) 参加申込にあたって収集した個人情報は参加可否(内定・決定)の通知・関連資料の送付を目的に使用します。また、事業中に撮影した写真等については、公益財団法人日本体育協会のホームページや各種報告書において利用することがあります。なお、この個人情報は、参加者の同意なしに、第三者に開示・提供することはありません（法令などにより開示を求められた場合を除く）。

その他：

- (1) 参加者を被保険者として傷害保険に加入します。
(2) 当日は実技を行いますので以下を忘れずにお持ちください。
・トレーニングウェア（運動できる服装）
・スポーツ活動用シューズ（室内用）
・健康保険証
(3) 「幼児期からのアクティブ・チャイルド・プログラム」（ガイドブック）とその他講習資料は当日配付します。
(4) 天候不順等で開催を中止する場合は、申込時に登録された連絡先（メール・FAX・電話番号）に連絡する他、ホームページ等によりその旨を掲載します。

<問合せ先> ○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○

〒○○○○○○○○○○○○○○

TEL：○○○○○○○ E-mail：○○○○○○○○○○○○○○○○○（担当：○○）

年 月 日

所属

氏名

実施日 / / (回目)

○ 指導内容(実践した運動遊び、指導者としての観点、指導のコツ、指導体制等)

Dotted writing area for the guidance content.

○ 子どもの観察評価

Q1. 今回の子どもの様子を 5段階評定で回答してください。

(5.そう思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.そう思わない)

※ 該当しない場合は「0」と記入してください。

① よく遊んでいた	回答記入欄 <input type="checkbox"/>	⑥ 工夫して遊んでいた	回答記入欄 <input type="checkbox"/>
② 遊びの種類が増えた	<input type="checkbox"/>	⑦ 集団で遊んでいた	<input type="checkbox"/>
③ 遊びに集中して取り組んでいた	<input type="checkbox"/>	⑧ ルールを守って遊んでいた	<input type="checkbox"/>
④ 遊んでいる時の表情が変わった	<input type="checkbox"/>	⑨ 走る、投げるなどの様々な動きがスムーズであった	<input type="checkbox"/>
⑤ 積極的に遊びに参加していた	<input type="checkbox"/>	⑩ ケガや転ぶことが減った	<input type="checkbox"/>

Q2. 前回の指導時と比べ、子どもに何か変化が表れましたか？
下記の記述欄に回答してください。

○ 自身の指導の振り返り

今回の自身の指導について5段階評定で回答してください。
(5.そう思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.そう思わない)

※ 該当しない場合は「0」と記入してください。

回答記入欄

- | | |
|---|--------------------------|
| ① 子どもたちは楽しそうに参加していましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ② 多様な動きを身につけるための運動プログラムを導入していましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ③ 保護者に指導の趣旨を伝える努力をしましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ④ 子どもたちの動きの成長を観察できましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 安全な指導に配慮していますか？ | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ 子どもたちに対する言葉遣いには配慮しましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ⑦ 子どもたちの動きや取り組みに対する態度を認め、ほめることを心がけましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ 指導者自身が子どもたちとともに楽しんで参加しましたか？ | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ 上級生は幼児や低学年の子どもたちの参加・指導に協力的でしたか？ | <input type="checkbox"/> |

○ その他特記事項

年 月 日

所属

氏名

実施日

/ /

(回目)

○ 子どもの観察評価

Q1. 過去1週間の子どもの様子を5段階評定で回答してください。

(5. と思う 4. やや思う 3. どちらともいえない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない)

※ 該当しない場合は「0」と記入してください。

① よく遊んでいた

回答記入欄

⑥ 工夫して遊んでいた

回答記入欄

② 遊びの種類が増えた

⑦ 集団で遊んでいた

③ 遊びに集中して取り組んでいた

⑧ ルールを守って遊んでいた

④ 遊んでいる時の表情が変わった

⑨ 走る、投げるなどの様々な動きがスムーズであった

⑤ 積極的に遊びに参加していた

⑩ ケガや転ぶことが減った

Q2. 過去1週間、子どもたちは室内での活動に対して集中できていましたか？5段階評定で回答してください。

(5. と思う 4. やや思う 3. どちらともいえない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない)

回答記入欄

Q3. 前回の指導実践以降、普段の活動において子どもに何か変化が表れましたか？下記の記述欄に回答してください。

○ その他特記事項

所属

氏名

実施日

/ /

(回目)

○ 子どもの観察評価

Q1. 過去1週間の子どもの様子を5段階評定で回答してください。

(5.そう思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.そう思わない)

※該当しない場合は「0」と記入してください。

① よく遊んでいた

回答記入欄

⑥ 工夫して遊んでいた

回答記入欄

② 遊びの種類が増えた

⑦ 集団で遊んでいた

③ 遊びに集中して取り組んでいた

⑧ ルールを守って遊んでいた

④ 遊んでいる時の表情が変わった

⑨ 走る、投げるなどの様々な動きがスムーズであった

⑤ 積極的に遊びに参加していた

⑩ ケガや転ぶことが減った

Q2. 過去1週間、子どもたちは室内での活動に対して集中できていましたか？5段階評定で回答してください。

(5.そう思う 4.やや思う 3.どちらともいえない 2.あまりそう思わない 1.そう思わない)

回答記入欄

Q3. 前回の指導実践以降、普段の活動において子どもに何か変化が表れましたか？下記の記述欄に回答してください。

○ その他特記事項
